

こども家庭ソーシャルワーカー認定資格 ソーシャルワーク研修（3号研修）実施要項

1 目的

本研修は、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格制度に基づき実施されるソーシャルワーク研修（3号研修）として、こども家庭福祉分野において一定の実務経験を有する者を対象に、相談支援、ケースワーク及び多職種・多機関連携に関する専門的知識および実践的能力の向上を図ることを目的とします。

本研修は、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格の取得に必要な研修の一部として位置づけられるものであり、本研修の修了のみをもって、こども家庭ソーシャルワーカー認定試験の受験資格が得られるものではない。認定試験の受験にあたっては、本研修（ソーシャルワーク研修）の修了に加え、別に定められた指定研修を修了することが必要です。

2 募集定員及び受講対象者

（1）募集定員

【15名】

※最少催行人数：6名

※受講申込者が最少催行人数に満たない場合は、本研修を中止する場合があります。

※最少催行人数に満たない場合の開催可否は、募集締切後速やかに決定し、受講申込者に通知します。

※JSWCの受講要件審査により受講が認められた者を対象に、定員に達し次第締切

（本要項において「日本ソーシャルワークセンター」とは、日本ソーシャルワークセンター（以下「JSWC」という。）を指します。）

（2）受講対象者

本研修の受講対象者は、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格制度における第3号ルートに該当すると、JSWCが受講要件審査により認めた者としてします。

① 指定施設等において、児童の福祉に係る相談援助業務に主として従事した実務経験を4年以上有する者。

② 上記実務経験が、児童の福祉に係る相談援助業務を主たる業務とする施設・機関におけるものであること。

※実務経験の該当性については、JSWCが実施する受講要件審査において総合的に判断されます。

③ 本研修の受講にあたっては、JSWCによる受講要件審査を受け、第3号研修の受講が認められていること。

3 募集期間

【令和8年4月15日（水）】から【令和8年5月20日（水）】まで

4 研修期間

【令和8年6月3日（水）】から【令和8年9月12日（土）】まで

本研修は、原則として全日程を会場において受講するものとします。
ただし、講義科目については、受講者の勤務状況等を踏まえ、主催者が特に必要と認められた場合に限り、例外的にオンライン会議システム（Zoom）を用いた受講を可とします。
なお、演習科目については、実践的能力の習得を目的とするため、すべて集合形式（対面）で実施し、オンラインによる受講は認めません。

5 費用

受講料 200,000円（税込）※教材費（テキスト代）は受講料に含まれません。

6 支払方法

- 銀行振込 阿波銀行 松山支店 普通 1057418
（イッパソヤダソホウジン ショクゲデザイン ダイョウリジ サクライトヤ）
一般社団法人 SHIKOKU Design 代表理事 櫻井 基也
（※振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします）
➤ 支払い期日：令和8年5月20日（水）

- ・支払期日までにご入金を確認できない場合、受講をお断りする場合があります。
- ・受講決定後、受講者の都合による受講辞退（キャンセル）があった場合であっても、受講料の返金はいりません。
- ・ただし、主催者の都合（最少催行人数に満たない場合を含む）により研修を中止した場合は、既に納入された受講料は全額返金します。

7 会場

【会場名】株式会社よんくる

【所在地】徳島県板野郡北島町鯛浜字中須4番地2

8 問合せ先

一般社団法人 SHIKOKU Design（株式会社よんくる内）
〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字中須4番地2
TEL：088-679-1899 Mail：office@shikoku-design.or.jp
問合せ受付時間：月～金（9：00～18：00）

9 申込方法

本研修の受講を希望する者は、以下の手順により申込みを行うこと。

STEP 1 マナブルに登録

※受講要件審査料 20,000 円（税込）は、JSWC に対して支払う費用であり、本研修の受講料とは別に、JSWC が定める方法により直接支払う必要があります。

- JSWC が公開している『研修管理システム（マナブル）』にアクセスし、氏名やメールアドレス等の必要事項を入力することで、受講者としての登録が可能です。

【研修管理システム（マナブル） 入口】

(<https://jswc.manaable.com/signup/non-org-member/>)



- ◇ JSWC で使用しているマナブルは、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格専用サイトです。他の資格等で使用しているマナブルに登録していても、ログインできません。

STEP 2 受講要件確認申請

- 各受講ルートに沿って、申請書類を作成します。申請書類は「こども家庭ソーシャルワーカー特設サイト」からダウンロードしてください
(<https://kodomo.jswc.or.jp/examinee/requirements>)



- マナブルにログインし、「研修・試験を探す」から『受講要件確認申請』を選択します。必要事項に記入するとともに、作成した申請書類や資格証等のデータをアップロードし、申請を行います。
- 受講要件を満たしていることが確認されると『CFSW 受講者番号』が発行されます。申請結果は、マナブル及びマナブルに登録されているメールアドレス宛てに通知します。質疑がない場合、概ね 1 週間程度で結果をご案内します。

STEP 3 研修申込をおこなう

- ▶ 『CFSW 受講者番号』が発行されたら、マナブルにログインしたのち、指定研修など各受講ルートに設定されている必要な研修の受講申込をします。

一般社団法人 SHIKOKU Design を選択してください

ソーシャルワーク研修カリキュラム・日程表 (講義)

科目	No	2026年	内容	時間	担当講師
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 理 論 と 方 法 (講 義)	1	6/3 (水)	ソーシャルワーク理論の概要と進め方	1.5	白山 39時間 6日間
	2		一般システム理論・サイバネティックス・自己組織性	1.5	
	3		生態学理論	1.5	
	4		バイオ・サイコ・ソーシャルモデル	1.5	
	5	6/10 (水)	ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク	1.5	
	6		治療モデル・生活モデル	1.5	
	7		ストレングスモデル・心理社会的アプローチ	1.5	
	8		機能的アプローチ・問題解決アプローチ	1.5	
	9	6/17 (水)	課題中心アプローチ・危機介入アプローチ	1.5	
	10		行動変容アプローチ・エンパワメントアプローチ	1.5	
	11		ナラティブアプローチ・解決志向アプローチ	1.5	
	12		アウトリーチ・スクリーニング	1.5	
	13	6/24 (水)	インテークの意義、目的、方法、留意点、契約	1.5	
	14		ニーズ確定の方法、留意点	1.5	
	15		アセスメントの意義、目的、方法、留意点	1.5	
	16		プランニングの意義、目的、方法、留意点 効果と限界の予測、支援方針・説明・同意	1.5	
	17	7/1 (水)	支援の意義、目的、方法、留意点	1.5	
	18		モニタリングの意義、目的、方法、効果測定	1.5	
	19		支援の終結と事後評価の目的、方法	1.5	
	20		アフターケアの目的、方法	1.5	
	21		記録の文体（叙述体、要約体、説明体等） 項目式（フェースシート等） 図表式（ジェノグラム、エコマップ等）	1.5	
	22	7/8 (水)	ケアマネジメントの歴史・適用と対象	1.5	
	23		ケアマネジメントの意義・プロセス・モデル	1.5	
	24		面接技法・バイステティック	1.5	
	25		グループダイナミックス・コミュニティワーク	1.5	
	26		スーパービジョン・コンサルテーション	1.5	

ソーシャルワーク研修カリキュラム・日程表 (講義)

科目	No	2026年	内容	時間	担当講師
地域福祉と包括的支援体制(講義)	1	7/15 (水)	地域福祉の概念、地域福祉の構造と機能	1.5	白山 19.5時間 3日間
	2		福祉コミュニティ論、在宅福祉サービス論、ボランティア・市民活動論	1.5	
	3		セツルメント、COS、社会事業、社会福祉協議会、民生委員、児童委員、共同募金、在宅・施設福祉	1.5	
	4		地方分権、社会福祉基礎構造改革、地域自立生活、地域包括ケアシステム、地域共生社会	1.5	
	5	7/22 (水)	コミュニティソーシャルワーク、コミュニティサービス、地域再生、ケアリングコミュニティ	1.5	
	6		地方自治体、NPO、市民活動組織、中間支援組織	1.5	
	7		当事者、代弁者、ボランティア、市民活動、住民自治	1.5	
	8		サービスの運営主体・条例、社会福祉審議会	1.5	
	9	7/29 (水)	地方分権、地方自治、地域主権、地方創生	1.5	
	10		福祉事務所、児童相談所、身体障害者更生相談所、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センター、婦人相談所、地域包括支援センター等	1.5	
	11		国の財源、地方の財源、保険料財源、民間の財源	1.5	
	12		包括的支援体制の考え方・展開	1.5	
	13		災害対策基本法、災害救助法、各自治体等の避難計画	1.5	

【時間設定】

- 1 限目 9:00～10:30 時
- 2 限目 10:45～12:15 時
- 3 限目 13.00～14:30 時
- 4 限目 14:45～16:15 時
- 5 限目 16:30～18:00 時

ソーシャルワーク研修カリキュラム・日程表 (演習)

科目	No	2026年	内容	時間	担当講師
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 Ⅱ (演習)	1	8/1 (土)	ソーシャルワーク実践過程：複合的課題と包括的支援 (虐待・児童虐待)	1.5	白山 39時間 6日間
	2		事例検討：ソーシャルワーク実践過程：複合的課題と包括的支援 (虐待・児童虐待)	1.5	
	3		ソーシャルワーク実践過程：複合的課題と包括的支援 (発達障害・不登校・ひきこもり) (知的障害・触法障害者・社会参加) (精神障害・薬物依存)	1.5	
	4		ソーシャルワーク実践過程：複合的課題と包括的支援 (発達障害・不登校・ひきこもり) (知的障害・触法障害者・社会参加) (精神障害・薬物依存)	1.5	
	5	8/8 (土)	ソーシャルワーク実践過程：ネゴシエーション (低所得者・貧困)	1.5	
	6		ソーシャルワーク実践過程：ネゴシエーション (低所得者・貧困)	1.5	
	7		ソーシャルワーク実践過程：複合的課題と包括的支援 (社会的排除)	1.5	
	8		ソーシャルワーク実践過程：複合的課題と包括的支援 (社会的排除)	1.5	
	9	8/22 (土)	地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握・地域アセスメント	1.5	
	10		地域福祉計画	1.5	
	11		地域の組織化	1.5	
	12		社会資源の活用・調整・開発・評価	1.5	
	13	8/29 (土)	地域におけるこども権利擁護	1.5	
	14		こども計画の立案と模擬作成	1.5	
	15		アドボケイトロールプレイ	1.5	
	16		こどもの社会的障壁の解決ワーク	1.5	
	17	9/5 (土)	児童支援ケース検討Ⅰ	1.5	
	18		児童支援ケース検討Ⅱ	1.5	
	19		障害児支援ケース検討Ⅰ	1.5	
	20		障害児支援ケース検討Ⅱ	1.5	
	21		障害児支援ケース検討Ⅲ	1.5	
	22	9/12 (土)	スーパービジョンの概念	1.5	
	23		スーパービジョンの方法	1.5	
	24		ケースに基づくライブスーパービジョンⅠ	1.5	
	25		ケースに基づくライブスーパービジョンⅡ	1.5	
	26		ケースに基づくライブスーパービジョンⅢ	1.5	